



2024年8月5日

各位

会社名 株式会社イルグルム
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 岩田 進
(コード番号: 3690) 東証グロース
問合せ先 執行役員 CAO 栢木 秀樹
(TEL 06-4795-7500)

通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年8月5日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年2023年11月6日の2023年9月期決算発表時に公表いたしました2024年9月期(2023年10月1日～2024年9月30日)の通期連結業績予想及び期末配当予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 修正の内容

2024年9月期(2023年10月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想(A)	百万円 4,100	百万円 240	百万円 230	百万円 140	円 銭 22.84
今回公表予想(B)	3,650	140	135	55	8.91
増減額(B-A)	△450	△100	△95	△85	—
増減率(%)	△11.0	△41.7	△41.3	△60.7	—
(ご参考) 前期実績 (2023年9月期)	3,626	318	329	197	31.39

(2) 修正の理由

2024年第3四半期累計連結売上高は、コマース支援事業のEC構築・運用支援領域が拡大も、売上寄与度の大きい「アドエビス」を中心とするマーケティングDX支援事業のマーケティングプロセス領域が減収となり、前年同期比0.7%増の2,729百万円で着地いたしました。

しかしながら、コマース支援事業のEC構築・運用支援領域において、営業及び開発体制の強化を図りながら事業拡大に取り組んでいるものの新規受注が期初計画を下回り、通期の売上高が期初予想を約250百万円下回る見通しとなりました。マーケティングDX支援事業については主力のマーケティングプロセス領域が減収も概ね想定通りの推移となった一方、インキュベーション領域で約150百万円下回る推移となったため、通期連結売上高は期初計画を下回る見込みとなります。

利益面につきましては、売上高が期初計画を下回った影響を主因に、通期連結営業利益は期初計画を下回る見込みとなります。

以上の理由から、2024年9月期通期連結業績予想につきましては、売上高および各利益項目を上記の通り修正させていただきます。

今後の戦略といたしましては、引き続き「アドエビス」等の既存事業で安定的に収益を獲得し、成長ドライバーであるマーケティングプロセス支援領域の新サービスと EC 構築・運用支援領域に投資することで、新たな売上の創出・加速的な売上成長を目指してまいります。

M&A についても積極的に検討していく方針であり、本日公表の「ルビー・グループ株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載のとおり、EC サイトの運用代行やフルフィルメントサービスを提供するルビー・グループ株式会社の株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました。第二の柱であるコマース支援事業において、顧客に対する垂直統合的なサービス提供を充実させることで、さらなる事業成長ができるものと考えておりますが、連結開始については来期 2025 年 9 月期第 1 四半期からを想定しているため、同社の業績見込みは当修正予想には含めておりません。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想		7.90	7.90
今回修正予想		7.60	7.60
当期実績	0.00		
前期実績 (2023 年 9 月期)	0.00	7.40	7.40

(2) 修正の理由

当社は、将来の事業展開のための投資と健全な財務体質を維持するために必要な内部留保を確保したうえで、連結株主資本配当率（D O E）2.5%を目安に、安定的かつ継続的な利益配分を行うことを基本方針としております。

当期（2024 年 9 月期）の配当予想については、上記のとおり親会社株主に帰属する当期純利益は開示していた通期業績見通しを下回ることとなったため、期末連結株主資本は計画よりも減少することとなりました。つきましては、上記配当方針に従い、1 株当たりの期末配当予想を 7.9 円から 7.6 円に減額修正することといたしました。

※本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上